

SUT-TF：医療に関するフォローアップ

平成 30 年 9 月 26 日

内閣府経済社会総合研究所

(検討内容)

第 9 回 SUT-TF での指摘等を踏まえ、JSNA における次回基準改定に向けた課題として、下記の点について検討・分析を既に開始しているところ。

(1) 医薬分業の進展の影響

2011 年 10 月では、医療部門の分類の考え方が設置者別からサービス別に見直され、2005 年 10 月にはなかった「医療（調剤）」部門が設立されており、2015 年 10 月でも同部門の計数が得られる予定である。2000 年前後以降は医薬分業が進んだ時期でもあり、当該部門を分離することで、基準年の推計がより適切なものになるのであれば、これを遡及して適用することが適当である。

(2) 医療部門の推計方法の検討

(1)とともに、上記のような基準年の新たな医療部門をベースにした推計を行うことで、精度向上が見込まれるかどうか検証し、結果を踏まえて推計方法の見直しを検討する（注：第 9 回 SUT-TF で提示したものは、現行推計による 2005 年を起点とした分析結果であり、こうした新たな医療部門をベースとした推計となっていない）。

(検討スケジュール)

次回基準改定への適用を前提に、2019 年夏までに検討を終える予定。